

## 第 7 回伊勢湾漁業影響調査委員会における指摘と対応

検討項目	指摘	対応
重要漁業生物の 予測評価方針に ついて	<p>漁業生物への影響は相加的ではなくて、相乗的に検討しなければいけないと思う。また、空港島の西側を埋め立てると生物分布に分断が起り、その場がなくなるだけの影響ではないと思う。</p>	<p>相乗的な影響を検討したいが、そのためには豊富な情報が必要になるので、情報がないものはご指摘を踏まえながら適切に考えていきたい。また、浮遊期を伴う生物は、ご指摘のとおりの影響が出やすいので、今後シミュレーションで検討して参りたい。</p>
	<p>底質が変わる影響をどの様に評価しようと考えているか。</p>	<p>伊勢湾シミュレーターで底生生物の量が計算できることから、結果をもとに評価について検討して参りたい。</p>
伊勢湾シミュ レーターの現況再 現について	<p>タイラギの浮遊幼生について、密度を与えてストークス則に沿って鉛直輸送を追加した変更は、結果としてどういう変化があったのか教えて欲しい。また、予測する時にはどう対応したらよいのか意見がほしい。</p>	<p>タイラギの浮遊幼生についてストークス則の条件を入れて計算すると、中層に分布のピークが計算され、観測結果とも一致している。また、予測する時は地形の変化だけを考慮して産卵のピーク・場所は変えない条件で計算をしたいと現時点は考えている。</p>
	<p>タイラギの浮遊幼生のネットワークをみると、三河湾に主たるソースであって、それが三重県側の南に移流し、そこがまた次のベースになって空港島周辺への供給を三河湾と一緒に支えているようにみえる。鳥羽周辺から北へ向かってフローしている群はストークスの式で下へ沈むモードを上げていることと関連しているのか、また、どういう時期にこういうことが起こっているのか。</p>	<p>浮遊している水深が密度成層よりも下の層と思われるため、これを反映してエスチュアリー循環に乗って来ていると考えている。</p>
護岸域における 生態系物質循環 の解析について	<p>肉食者は多種なものがあるので、強制関数値として与えるのであれば、試験操業で評価されている魚種のトータル量を入れるべきではないか。</p>	<p>ご指摘に沿って検討を進めて参りたい。</p>

	<p>胃内容物のデータが多くあるので、食物連鎖がどうなっているかを評価する別のモデルも参考に作ってはどうか。例えば、エコパスウィズエコシムのようなモデルを参照モデルとして作って、ここで作られたモデルが正しいかをみるようなことをしてはどうか。</p>	<p>対応方法については今後検討して参りたい。</p>
<p>その他（全体を通して）</p>	<p>工事の過程で漁業そのものがない影響はあまり考えてこなかった気がする。何年もかかってそこを埋め立てる工事をやるので、その間の漁業がないことの影響も考慮すべきと思う。</p>	<p>今後の評価作業において検討して参りたい。</p>
	<p>浮遊幼生は、気象海象条件で分散、移流が変わってくると思う。水質は典型的に違うパターンの2年間で評価することでよいと思うが、浮遊幼生について敏感な気象海象場、例えば風の向きとか強さをどう考えて評価に使うかを整理しておく必要があると思う。</p>	<p>今後の評価作業において検討して参りたい。</p>